

催吐リスク High(apr)

肺(PEM500+CDDP75+BEV15)d1/21d

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液	点滴時間(分)	投与日(day)
アプレピタント	内服	125	mg		1
デキサメタゾン	注射	9.9	mg		1
グラニセトロン	注射	1	mg 生食	100 mL 30	1
アバスチン	15	mg/kg	生食	100 mL 30	1
アリムタ	500	mg/m ²	生食	100 mL 10	1
シスプラチン	75	mg/m ²	生食	500 mL 60	1
				mL	
				mL	

内服薬

アプレピタント 80mg 分1 朝食後 day2,3

デキサメタゾン 8mg 分2 朝昼食後 day2,3,4

オランザピン 5mg 分1 眠前 day1,2,3,4

投与基準等

Ⅱ. 投与基準 (例:白血球 $\geq 2000/\text{mm}^3$ 、好中球 $\geq 1000/\text{mm}^3$)

- 白血球 3000 $2,000/\text{mm}^3$ 以上 かつ 好中球 1500 $1,000/\text{mm}^3$ 以上
- Plt 100,000 以上
- PS 0 or 1
- 37.5°C以上の発熱が無い事

Ⅲ. 減量基準 (例: Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)

Grade3以上の好中球減少時、ペトレキセド・シスプラチン共に前回投与の75%に減量

Ⅳ. 重大な副作用 (例: 好中球減少 Grade3 以上37.5%)

- ・好中球減少
- ・骨髄抑制
- ・間質性肺炎など

ペバシズマブ特有の副作用

- ・喀血
- ・腫瘍出血
- ・血栓塞栓症 など